

やっぱり定番は欠かせない! クラウド連携で超進化!!

〔マックファン〕

特別編集号

# Mac Fan

特別定価 0円

Take Free

完全保存版

## Office 2016 for Mac 大研究

実際に  
5年ぶりの  
リリース!

新しいOfficeは  
仕事と人生を  
革新する

"Let's make life  
work better."



## ミックスで広がる可能性

今週の金曜は  
有休をとてキャンプへ。  
急ぎの用件があっても  
iPadで対応しよう。

今や私たちの仕事をじりまく状況は大きく変わってきており、職場に縛られず外出先で仕事をこなすスタイルも当たり前のものになつてきました。そんな中で広まり始めたのが「ワークライフミックス」という考え方。仕事と私生活の垣根を取り払い、仕事とプライベートの両方を豊かにしていくといつスタイルです。

この考え方を聞いて、プライベートが仕事に浸食されるのは?と不安を感じる人もいるでしょう。しかし、単に時間や場所に束縛される仕事ではなく、仕事を通して何かを実現したい、成長していくたいと感じている人であれば、この考え方メリットを見出せるはずです。

実際、こうした仕事とブラン

ベートがミックスした状況は、すでに現実のものになっています。たとえば、個人のフェイスブック・アカウントはオン・オフが入り交じった状態になつていると思いますが、ミックス状態だからこそ人脈が広がり、オフのつながりからオ-に役立つアイデアが生まれることもあります。



## Introduction

仕事とプライベートの垣根を取り払うと、両方が豊かに!

# Microsoft Officeで実現する 「ワーカーライフミックス」の働き方

夕方から  
家族とディナー。  
仕事はその後で。

SNSで友だちと  
話をしていたら  
うちの会社の商品を  
導入したいと  
提案された。

## ワーカーライフを支援する

マイクロソフトは、そんな時代の変化に応えるビジネスツールを提供し始めています。「オフィス365（Office 365）」は、職場のPCだけでなく自宅のMacやモバイルデバイスでも利用できるサービスです。さらに、クラウドを介してどこからでも書類にアクセスできる点も大きな特徴です。オフィスはこれまで職場での生産性を高めるツールであり続けてきましたが、今はさらに一步進んで、時間と場所に縛られないワーカーライフミックスを充実させるツールとして、新しい働き方を支援するようになっているのです。

日本人には、今も職場中心の考え方を持つ人が多く、「ワーカーライフミックス」の働き方を敬遠する傾向が根強く残っています。しかし、人口減少や高齢化で労働力が減り続ける日本は、もつと積極的に働き方を変えていかなければなりません。一方個人も、会社の運営方針との折り合いをつけながら、新しい働き方を摸索していくいたいもので。仕事と生活の両方を豊かにする、心地いいワークスタイルを見つけていきましょう。

# Chapter 1 新しいOfficeの キーワードは 「最適化」「共通化」 「クラウド」

約5年ぶりのリリースとなったMac版Officeは、

インターフェイスや機能面で

Windows版との共通化を進め、

プラットフォームの差を感じずに文書の作成ができます。

Macの最新テクノロジーにもきめ細やかに対応し、

ワクワクしながら使えるツールに進化しています。



実際に5年ぶりのメジャーアップデートを果たしたOffice 2016 for Mac。今回のアップデートには、大きく捉えると「3つの革新」があります。まず1つは、今どきのMac上で快適に使えるよう、最新のMacテクノロジーにしっかりと対応していること。具体的には、フルスクリーンモードやレティナディスプレイへの最適化が図られ、トラックパッド・ジェスチャへの対応も増えています。

2つ目の革新は、今どきのオフィスの機能をMac版で存分に引き出せるようにした点です。画面レイアウトもWindows版2013に合わせ、さらにショートカット類もWindows版と統一されました。操作の違いを気にせず作業できるようになり、機能の共通化も図られているためファイルの互換性を気にすることもほとんどなくなりました。

そして3つ目が、クラウドとのシームレスな接続です。Office 2016 for Macではマイクロソフトが提供しているクラウドサービス「ワンドライバ(OneDrive)」との連携が強化されており、各ソフトのダイアログから直接クラウドに保存できるようになりました。クラウドストレージを通じてMac、Windows、iOSデバイスなどで同じファイルを開いて編集できることで、デバイスの種類を気にせず、いつでもどこでも文書の閲覧・編集が可能になったのです。さらに「共有」機能を使うことで、オフィス書類を他のユーザーと共有することも極めて手軽になりました。

Office 2016 for Macは、Office 365のユーザーならすぐにダウンロードして使えます。最近ではMacとWindowsが混在する仕事環境が増えつつあり、操作性の統一が特に作業効率に影響してきます。その点Office 365のユーザは、MacでもWindowsでも常に最新のOfficeを利用できるため、操作に戸惑うことがなくなります。デバイスを選ばずについでも作業できるという点は、非常に有用性が高いといえるでしょう。

## 「Office 365」への加入がベスト

ラウドサービス「ワンドライバ(OneDrive)」との連携が強化されており、各ソフトのダイアログから直接クラウドに保存できるようになりました。クラウドストレージを通じてMac、Windows、iOSデバイスなどで同じファイルを開いて編集できることで、デバイスの種類を気にせず、いつでもどこでも文書の閲覧・編集が可能になったのです。さらに「共有」機能を使うことで、オフィス書類を他のユーザーと共有することも極めて手軽になりました。

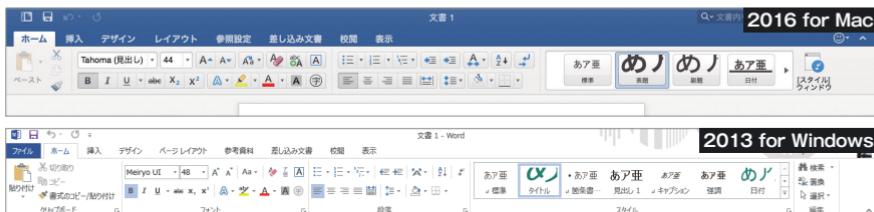
Office 2016 for Macは、Office 365のユーザーならすぐにダウンロードして使えます。最近ではMacとWindowsが混在する仕事環境が増えつつあり、操作性の統一が特に作業効率に影響してきます。その点Office 365のユーザは、MacでもWindowsでも常に最新のOfficeを利用できるため、操作に戸惑うことがなくなります。デバイスを選ばずについでも作業できるという点は、非常に有用性が高いといえるでしょう。

## 機能の違いを感じずに使える



たとえばPowerPointのトランジションは、これまでWindowsとMacで違うものがありました。今回からは完全に統一されています。

## Windowsと同じ感覚で使えるインターフェイス



リボンインターフェイスはMac版の前バージョンでも採用されていましたが、現行のWindows版とは微妙に違っていました。しかしOffice 2016 for Macではほぼ共通化されており、同じ操作感で使えます。

## トラックパッドジェスチャに対応



Excel 2016 for Macなどではトラックパッドをピンチイン/ピンチアウトすることで自由に倍率を変更できます。Macユーザにお馴染みの操作が使えるというわけです。

## レティナディスプレイに最適化し、細かなボタンまで美しく



前バージョンではレティナディスプレイに最適化しきれておらず、一部ギザギザになっている部分がありました。現バージョンでは完全に最適化されており、高精細で美しいインターフェイスになっています。

## 新Officeの革新 1

# OfficeエクスペリエンスをMacに

これまでWindows版と違っていたUIデザインを統一し、ボタン配置の微妙な違いまで共通化されました。キーボードショートカットもWindows版に準拠したため、Windows版を使い慣れたユーザも違和感なく利用できます。

文書 1

Q 文書内 2016 for Mac

あア番 検索 めノ めノ あア番 表紙 あア番 日付 ワイド

文書 1 Word

Q 文書内 2013 for Windows

あア番 メニュー あア番 あア番 あア番 めノ あア番 検索 めノ あア番 あア番 あア番

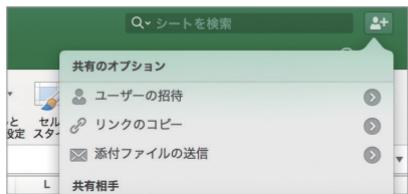
文書 1 Word

## 新Officeの革新 2

# MacエクスペリエンスをOfficeに

これまでのMac版はレティナディスプレイに正式対応していませんでしたが、このバージョンで最適化されました。また、フルスクリーンへの最適化を図るとともにトラックパッドジェスチャの対応も増え、よりMacらしい使い勝手で文書を作成できます。

## ドキュメントの共有もスムース



共有オプションからユーザーを招待することで、他のユーザとファイルを共有できます。招待したユーザはOneDriveを通してファイルを編集できます。

## クラウドデータに素早くアクセス

マイクロソフトアカウントを入力してOneDriveにサインインすれば、ファイルを開くときや保存時に「自分のMac」か「オンラインの場所」を選んでファイルを操作できます。

## Office 2016 for Macの製品ラインアップ

	Office 365 Solo※1	Office Home & Student 2016 for Mac	Office Home & Business 2016 for Mac※2
使用年数／使用台数	1年／2台(Windows, Mac)	永続／2台(Macのみ)	永続／2台(Macのみ)
参考小売価格	1万1800円／年	2万3800円	3万4800円
Word	○(Mac&Windows)	○(Macのみ)	○(Macのみ)
Excel	○(Mac&Windows)	○(Macのみ)	○(Macのみ)
PowerPoint	○(Mac&Windows)	○(Macのみ)	○(Macのみ)
OneNote	○(Mac&Windows)	○(Macのみ)	○(Macのみ)
Outlook	○(Mac&Windows)	—	○(Macのみ)
Publisher	○(Windows)	—	—
Access	○(Windows)	—	—
常に最新バージョンの アプリケーションにアップグレード	○	—	—
マルチデバイス※3	○	—	—
1TBのOneDriveストレージ	○	—	—
Skype毎月60分の無料世界通話※4	○	—	—
テクニカルサポート	○	—	—

※1 個人用のSoloのほか、Officeアプリケーションが使えるすべてのOffice 365プランで使用可能 ※2 「Office Academic 2016 for Mac」も発売される。収録ソフトはOffice Home & Business 2016 for Macと同等で、参考小売価格は1万6800円

※3 2台のタブレット(iPad、Android、Windows)、2台のスマートフォン ※4 Skypeから固定電話および携帯電話への通話

## 新Officeの革新 3

### クラウドとシームレスにつながる

クラウドストレージ「OneDrive」との連携が強化され、各ソフトの[開く／保存]ダイアログから直接読み書きできるようになっています。さらにOneDriveを介したコラボレーション作業もぐっと簡単になりました。

## 個々のソフトの進化



### Word 2016 for Mac ワード

- 表示形式を厳選しインターフェイスをシンプル化
- 体裁を整えるのに役立つ「デザイン」タブ
- 見出し行を一覧できる「見出しまップ」
- スレッド化されたコメントでやりとりを可視化



### Excel 2016 for Mac エクセル

- 統計分析や学術分析に役立つ「分析ツール」を搭載
- データの内容に応じて最適なグラフ形式を提案
- 集計作業に便利な「おすすめピボットテーブル」
- 数学書や技術書に出てくる特殊な数式も記載できる



### PowerPoint 2016 for Mac パワーポイント

- さらに多彩なスライドテーマを搭載
- インパクトのある新しい画面切り替え
- 複雑な图形を作成できる「图形合成機能」を搭載
- より使いやすく改善された「開発者ツール」



### OneNote 2016 for Mac ワンノート

- フリーレイアウトがうれしい多機能ノート
- 画像もファイルもWEBページも、多彩な情報を挿入できる



### Outlook 2016 for Mac アウトルック

- 個人でもビジネス用途でも頼れる高機能メーラー
- 天気の表示ができる高機能な予定表を搭載



## Chapter 2 やっぱり Microsoft Officeを 選ぶ理由

アップルの「iWork」をはじめ、  
Officeと互換性があるビジネススイートは  
多数存在しています。  
しかし、それでも世の中のスタンダードは  
常に Microsoft Office であり続けています。  
その理由はどこにあるのかを探ってみましょう。



長い歴史の中で洗練されているから  
使い勝手がいい

理由①

オフィスは、最初のバージョン  
が1989年にMacで登場し、  
以後25年以上バージョンアップを  
重ねてきた。歴史あるビジネスス  
イートです。今こそデスクフック  
ト・スタンダードとして業界に君  
臨していますが、以前は強力なラ  
イバルに囲まれて覇を競っていた  
時代もありました。

そんな時代の中でオフィ  
スが定番の座を築けたのは、  
強力な機能もさることながら、  
バージョンアップを重  
ね磨き上げられた使い勝手  
の良さにあります。

たとえば、オフィスは  
ユーザが対話式で使いたい  
機能を検索できるヘルプシ  
ステム、「オフィスアシスタ  
ント」や、対話式のアシス  
タント「ワイヤード」をいち  
早く導入。多機能なソフト  
でも迷わずに機能を引き出  
せる配慮がなされています。  
一方、エキスパートには

豊富なキーボードショートカット  
で効率よく操作する手段やマクロ  
による自動化が用意されています。  
初心者からエキスパートまで、  
あらゆるレベルのユーザに使いや  
すさを提供してきた懐の深さが  
オフィスの安心感につながってい  
るのです。

### ベテランには効率的な操作体系が魅力

番号	A	B	C	D
1	姓	名	郵便番号	住所
2	たとえば、[シフト]キー+[スペース]		県青森市中央区4	青森市長島1-1
3	キーで1行全体を選択。そのままキー		県盛岡市内丸10	仙台市青葉区4
4	ボードだけでコピー／ペーストできます		県秋田市山王4	山形市松波二
5			福島県福島市杉妻町2	福島県福島市水町9
6			茨城県水戸市笠原町9	茨城県宇都宮市塙田1
7	7 西園寺	公望	栃木県那須塩原市大手町1	群馬県前橋市千代田1
8	8 桂	太郎	埼玉県川口市浦和	埼玉県千葉市中央区1
9	9 山本	権兵衛		
10	10 寺内	正毅		
11	11 原	敬		
12	12 高橋	是清		
13				

Office 2016 for Macでは新しいショートカットが追加され、これまで以上に効率的に作業ができます。Excel 2016 for Macだけで180以上のショートカットがあり、ベテランユーザにはキーボードでの操作がしやすくなっています。

## 代替ソフトではない「本家オフィス」なら、互換性の不安が少ない

ビジネスでは、誰かが作ったオフィス書類を開いて内容を確認したり、その書類に加筆・修正を加えて再利用するということがしばしばあります。こうしたときに問題になるのが、「データの互換性」です。ファイルが開けないのはもちろん問題ですが、開けたとしても正しく表示できない、といったことが起り得るのです。

この問題は、特に「オフィス互換ソフト」で深刻化します。アップル製の「iWork」をはじめ、「オフィス互換ソフト」はいくつもありますが、文書で使っている機能を再現できなかつたり、レイアウトが崩れてしまふこともあります。互換ソフトはいくつもありますが、文書で使っている機能を再現できなかつたり、レイアウトが崩れてしまふこともあります。「体裁を直すよりイチから作ったほうが早かつた」という事態も大きいにあります。

しかも、こうした互換性の問題は、元ファイルを制作した環境と自分の環境とを見比べてみないと気がつきにくいものです。ほかの

人からもらった書類を編集したあとに、重要な要素が欠落していることを指摘される危険もあります。こうした不安は、互換ソフトを使っている限りぬぐい去ることはできません。

その点、本家のオフィスは、文書の互換性に対してもこれまでも十分な配慮がなされてきました。

しかもオフィス2016 for Macでは互換性がこれまで以上に高まっています。体裁の崩れに悩むことはほとんどないはずです。

下の図では、一例としてエクセル文書の再現性を検証しています。

が、「ワード」書類でも「ワード」

書類でも同様のことがいえます。

工夫を凝らしてさまざまな機能を

使った書類であればあるほど、互

換ソフトでは表示の崩れが発生しやすくなります。一方、最新の本

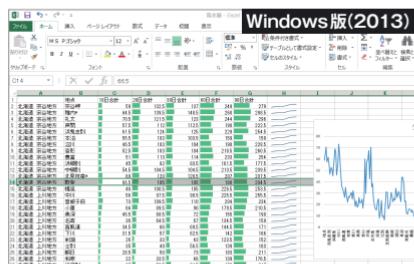
家オフィス同士では、あつけないほど正しく再現できます。この安

心感は、本家オフィスを選ぶ大きな理由の一つとなります。

ビジネスでは、誰かが作ったオフィス書類を開いて内容を確認したり、その書類に加筆・修正を加えて再利用するということがしばしばあります。こうしたときに問題になるのが、「データの互換性」です。ファイルが開けないのはもちろん問題ですが、開けたとしても正しく表示できない、といったことが起り得るのです。

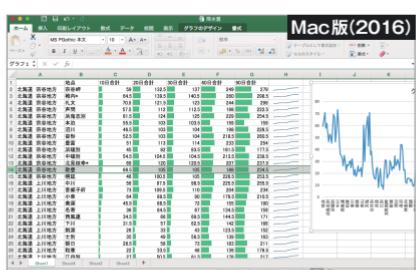
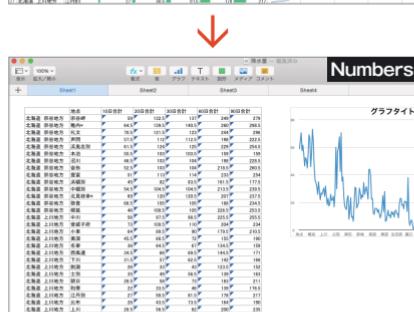
この問題は、特に「オフィス互換ソフト」で深刻化します。アップル製の「iWork」をはじめ、「オフィス互換ソフト」はいくつもありますが、文書で使っている機能を再現できなかつたり、レイアウトが崩れてしまふこともあります。互換ソフトはいくつもありますが、文書で使っている機能を再現できなかつたり、レイアウトが崩れてしまふこともあります。「体裁を直すよりイチから作ったほうが早かつた」という事態も大きいにあります。

しかも、こうした互換性の問題は、元ファイルを制作した環境と自分の環境とを見比べてみないと気がつきにくいものです。ほかの



### Excel文書の再現性を比較

Excel文書を開くことができるアップルの「Numbers」と再現性を比較。グラフ類はNumbersも比較的の正確に再現していますが、ピボットテーブルやデータバー、スパークライン、VBAマクロといった機能はOfficeでしか表現できません。関数も大半は共通ですが、Numbersに対応していない関数も存在します。



## 「魅せる」文書を作成するための機能が充実している

ビジネス文書では、内容の正確さや情報価値の高さが重要なのはもちろんですが、それだけでなく、一目で読む相手に印象づけて「読んでみたい」と思わせるインパクトの強さも求められます。

通常、そのような文書を作るにはセンスや技術が必要になりますが、オフィスには誰でもグラフィカルで、統一感のある文書を作れる機能が充実しています。少ない手間でインパクトのある図やグラフを作ることも可能ですし、細かく作り込みたいときにはどこかんまで調整できる柔軟性も併せ持っています。

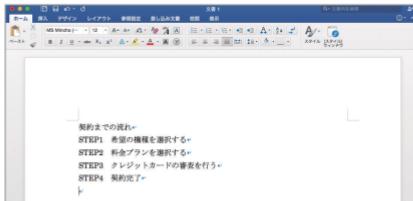
たとえばワードには、インパクトのある見出しや文字を配置したいときに使える「ワードアート」や、組織図などを配置したいときに使える「スマートアート」など、さまざまなグラフィック効果を手軽に追加できる機能が用意されています。さらに、文書内に読み込んで画像の編集機能や、見栄えのいい

いグラフの作成、豊富なクリップアートなど、文書を彩る図版に関する機能も豊富にあり、「魅せる」文書作りを強力にアシストしてくれます。

こうした機能は、使いすぎるとむしろ逆効果になる面もありますが、ポイントを絞つて効果的に使えばプロ水準の文書も作成できます。うまく使いこなして書類作りに役立てたいものです。

一方、見出しや本文といった文字要素に統一感をもたらす「スタイルシート」など、文書全体の調和を図るために機能も充実しています。インパクトのある図版を隨所に配置しながら、全体としてはスッキリと読みやすくなるということが簡単にできるのです。また、新規書類の作成時に選べるテンプレートも充実しており、もし標準のテンプレートで足りない場合は、オンラインから数百以上のテンプレートをダウンロードすることも可能です。

### 視覚的に説得するスマートアート



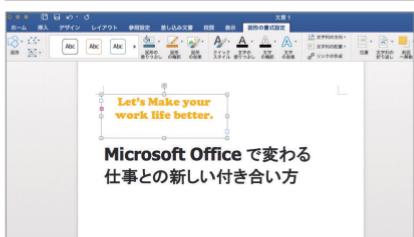
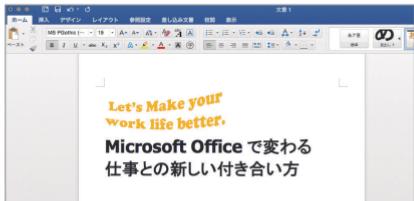
契約までの流れ

- 希望の機種を選択する
- 料金プランを選択する
- クレジットカードの審査を行う
- 別約完了

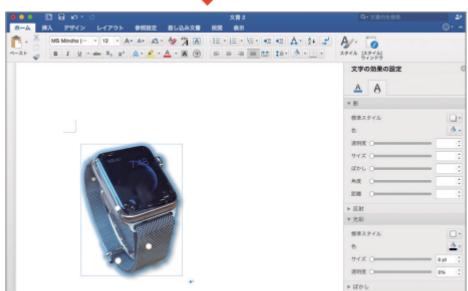


「スマートアート」は選択した文字列をフローチャートなどの图形に変形させる機能です。たとえば組織図を作ったり、複数の要素の関係を図示したいときに効果的です。要点を絞り、少なめのテキストをベースにすると伝わりやすくなります。

### 文字を瞬時にビジュアル化するワードアート

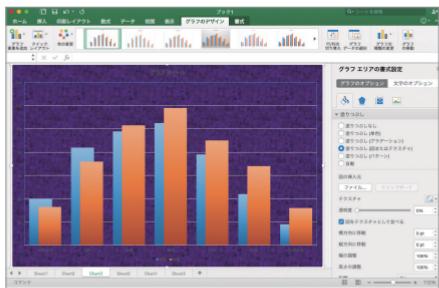


「ワードアート」は文字に装飾をかけてロゴ化する機能。単にロゴ化するだけではなく、3D化や変形といった追加効果をかけることでいっそうロゴらしくできます。効果を保ったまま、あとから文字の加筆・修正も行えます。



## 画像の加工・修正はもちろん 切り抜きまでできる

挿入した画像には、明るさや色味、シャープネスの修正といった基本的なレタッチが行えるほか、さらに余分な背景を削除することも可能です。別途グラフィックソフトを使わなくともOfficeだけで完結できるのは大きなメリットです。



## 豊富なバリエーションから グラフを作成、 思う存分作り込むこともできる

Excel 2016 for Macが用意しているグラフの種類は數十種類以上。グラフは線の太さや色などを細かくカスタマイズでき、さらに棒グラフと折れ線グラフなど、複数のグラフを組み合わせることも可能です。しかも新しいExcelは、データの中身を判別して、おすすめのグラフ形式を提案してくれる「おすすめグラフ」機能も搭載しています。

## 豊富な機能でユーチューバーの細かなニーズにもしっかり応えてくれる

オフィスはその長い歴史の中、さまざまな機能を追加しながら進化してきましたが、その多くはユーチューバーのニーズに応えて実装されたものです。

たとえば、ワードは単なるワープロとしての利用に加え、ラベルやハガキの宛名印刷にも利用されています。差し込み印刷やラベル用のレイアウトなど、特殊な印刷関連の機能が充実しているのはこのためです。

また、エクセルは単純な表計算だけでなく、データ解析に使用されることも多いソフトです。そのため、WEB上にあるデータベースと直接接続できるようにしたり、データ解析に便利な機能を多数搭載しています。これも本来の目的を超えた機能ではあります。直感的に使えるシンプルなビジネスソフトもいいですが、他のビジネスソフトでは、使っているうちにやりたいことができず不満が募っていくこともあります。

ソフトに備わっている機能に合わせて、やりたいことを制限するという状況も出てきてしまうのです。一方オフィスなら、そうしたジレンマを抱えることがほとんどありません。こうしたちょっとした利便性の積み重ねが「やっぱりオフィスを選ぶ」大きな理由になります。

このほか、マクロによる自動化や、エクセルで作成したグラフをワードやワードアートに貼り付

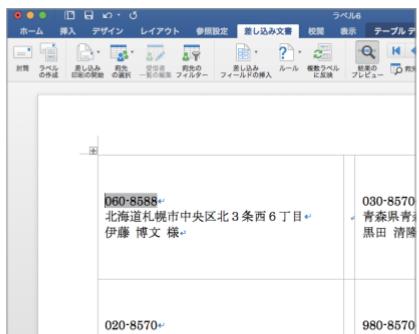
取ってきた結果です。

ワードやワードアートで作成したグラフをワードアートに貼り付

けて流用できるなど、かゆいところに手が届く機能は枚挙にいとまがありません。そのすべてが、ユーチューバーの手間を省き効率を高めるために用意されたものです。

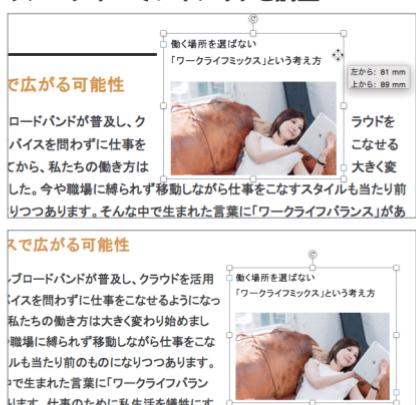
オフィスほどの規模のソフトになると、ニーズの幅も極めて広くなっています。それでも、それらの多くのをかしらの形で実現できる奥深さが、オフィスの魅力でもあります。

簡単にできる差込印刷



The screenshot shows a Microsoft Word document with a table. The first row has two cells: the left one contains the phone number '060-8588' and the right one contains '030-8570'. The second row has two cells: the left one contains '020-8570' and the right one contains '980-8570'. The third row has two cells: the left one contains '北海道札幌市中央区北 3 条西 6 丁目' and the right one contains '青森県青森市黒田 清隆'. The fourth row has two cells: the left one contains '伊藤 博文 様' and the right one contains '勤務場所を選ばない「ワークライフミックス」という考え方'.

### リアルタイムでレイアウトを調整



### で広がる可能性

ロードバンドが普及し、クライアントを問わずに仕事をこなす私たちの働き方は、今や職場に縛られず移動しながら仕事をこなすスタイルも当たり前になりました。そんな中で生まれた言葉に「ワークライフバランス」があります。

### で広がる可能性

ブロードバンドが普及し、クラウドを活用する手段を問わずに仕事をこなせるようになりました。私たちの働き方は大きく変わり始めました。職場に縛られず移動しながら仕事をこなすスタイルも当たり前になりました。そんな中で生まれた言葉に「ワークライフバランス」があります。仕事のために生活を犠牲にする

独立したテキストボックスをドラッグして移動させる際、ドラッグ中に文章など他の要素がリアルタイムに回り込んでいます。ワープロソフトでありながらまるでグラフィックソフト並みのレイアウトが直感的にできるのは、Wordならではの魅力です。

Wordには強力な差込印刷機能が用意されています。OS X の「連絡先」に登録されている住所録やExcelなどで作成した住所録を元に宛名ラベルを作成できるほか、異なる相手へ同内容の文章を送信する際に大変役立ちます。主要なラベル用紙のサイズも登録されているので操作も簡単です。



## 「スパークライン」で場所を取らずに視覚化



表全体のデータ傾向はグラフを作れば確認できますが、個別の行・列内のデータを把握するのに役立つのが「スパークライン」です。これはセル1つの中に表示される小さなグラフで、選択した範囲の増減の傾向などを感覚的に把握するのに役立ちます。

## 効率的な外部データの取り込み

ホーム 插入 印刷レイアウト 形式 データ 検閲 表示

FileMaker から HTML ファイル テキスト 新しいデータベース クエリ

SQL Server ODBC データ ソースへの接続

サーバー名: sql.hoge.co.jp

データベース: db

認証:

方法: ユーザー名とパスワード

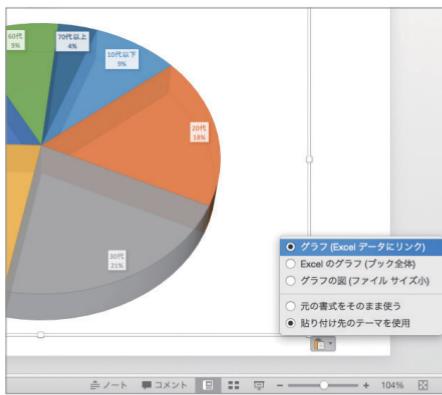
ユーザー名: hoge

パスワード: [REDACTED]

分析用のデータをExcelに取り込む際、従来は CSVやタブ区切りテキスト形式にしたものを見込ませることが多かったと思います。しかしExcel 2016 for Macでは、ファイルマネージャーやSQLサーバー、WEBページから直接データを読み込めます。サーバーと直結することで、常に最新のデータを反映した分析が可能になります。



## グラフや表はExcelから埋め込む



PowerPointにも作表機能やグラフ機能はありますが、すでにExcelのデータがあるなら作り直す必要はありません。Excelから表やグラフをコピーしてPowerPoint上にペーストしましょう。その際、グラフや表を元のファイルとリンクさせれば、元データを編集した際に自動でスライド上のグラフや表が更新されます。

## 抜粋版を作成できる目的別スライドショー

デザイン 画面切り替え アニ

発表者ツール

目的別スライドショー

スライドショーの設定

目的別スライドショーの定義

スライドショーの名前: 社内プレゼン用

プレゼンテーション中のスライド:

1. 1. 北海道 宗谷半島・支笏湖

2. タイトルとリスト コンテン…

3. タイトルとグラフ コンテン…

4. 2つのコンテンツのレイア…

5. 2つのコンテンツのレイア…

6. スライド 6

7. スライド 7

8. スライド 8

9. スライド 9

10. スライド 10

11. スライド 11

追加>

社内の部署向けや社外プレゼン用など、スライドショーに複数のバリエーションが必要な場合、個別にファイルを作っているとトラブルの原因になりかねません。PowerPointの「目的別スライドショー」はスライドショー全体の中から任意のページを集めて表示セットを作る機能で、1つのファイル内で処理できるので、ファイルのコピーミスなども回避できます。

# Officeが作り出すのは 「いつでも」「どこでも」 「どのデバイスでも」を叶える 次世代のエコシステム

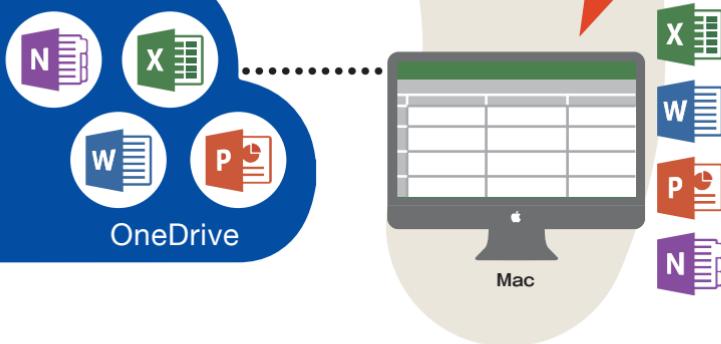
従来のパッケージスタイルからサブスクリプション形式に移行しつつある新しいOffice。

これは単なる販売モデルの変革だけではなく、サービスとプロダクトをすべてクラウドに統合し、私たちの働き方そのものを大きく変えることを目指しているのです。

## エコシステムの根幹

### 環境の単一化 Unification

どのプラットフォームでも常に  
最新のソフト環境を保てる



テクノロジーの発達に伴って、かつて常識だったものがより新しい常識へと置き換わっています。そしてこれは、ビジネスソフトの定番であるオフィスシリーズも例外ではありません。

たとえば、今やデータはUSBメモリやハードディスクといった物理的なメディアで持ち運ぶではなく、インターネット上に用意されたオンラインストレージサービスを使いつぶやきが主流になりました。マイクロソフトが提供するワンドライブもそうしたオンラインストレージで、オフィス365ユーザーは1TBという非常に広大なディスクスペースを利

用できます。多くのユーザーは自分に必要なデータのすべてをワン

**常識は塗り替えられていく**

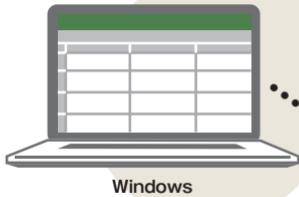
ドライブに入れておき、MacやiPhoneといった自分の持つ複数のデバイスで同じデータを持ち歩けるようになります。

これによって、デバイスが変わつても作業の続きをすぐに再開できるようになり、一度ファイルを「コピー」したりといった煩わしさもなくなります。さらに、他の人とのファイルの共有もいつそつ手

### エコシステムの革新①

#### 継続性 Continuity

デバイスの違いを感じずに  
いつでもどこでも作業を継続できる



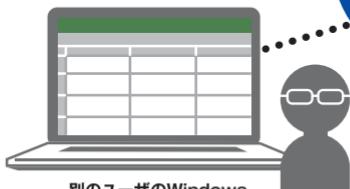
iPhone

iPad

### エコシステムの革新②

#### 共同作業 Collaboration

ほかのユーザともシームレスに  
文書を共有して閲覧・編集ができる



#### 絶対的な懐の広さ

最近は複数のデバイス間でデータを同期できるソフトが増えてきましたが、その中でもオフィスのエコシステムは圧倒的な存在感を放ちます。その理由は、WindowsやMac版のみならず、iPhoneやiPad、Androidロード、Windows・フォンとほぼすべての主要なプラットフォームにネイティブのツールを提供していることがあります。文書作成、表計算、プレゼンテーションといったビジネススクに必要なツールをすべて持ちながら、クロスプラットフォームでの高いデータ互換性を維持しているのは唯一オフィスだけ。ここまで柔軟な対応ができるものは他にありません。

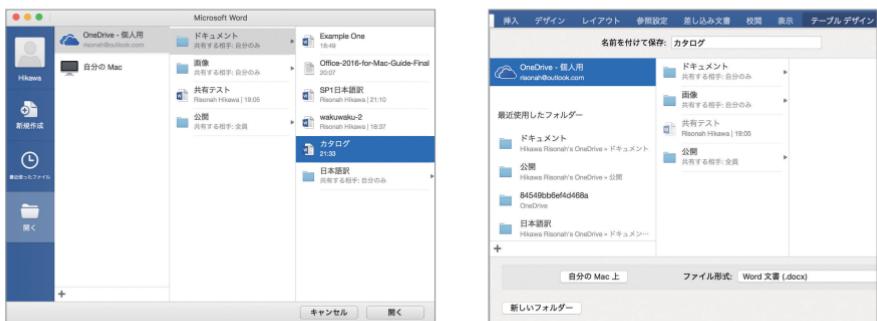
クラウドにより仕事の時間や場所といった制約を取り払い、ワーカスタイルを大きく変革する存在、それが新しいオフィスが作り出す次世代のエコシステムなのです。

軽になるつえ、共有ファイルを誰かが編集したタイミングで全員のデータが更新されるため、共同作業がぐっと楽になります。

# Continuity 繼続性

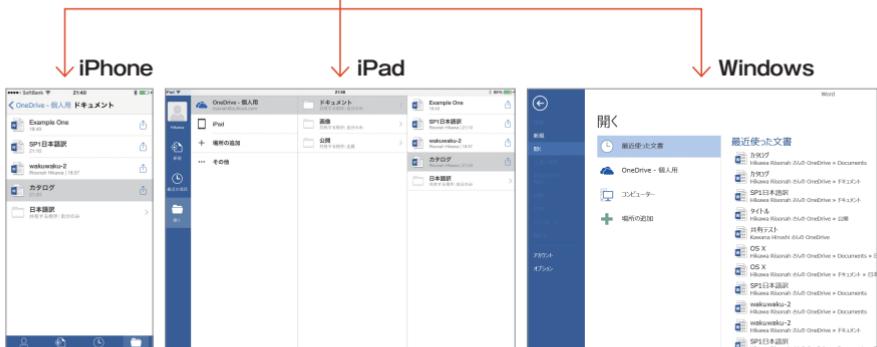
場所を選ばない自由さが  
ワークスタイルそのものを再定義する

## OneDriveに保存してファイルを同期する



②一度保存されたファイルは[開く]メニューを選択すると、OneDriveの中からローカルにあるものと同じように選択して開くことができます。

①ログインが完了すると、保存先にOneDriveが追加されています。保存先はあらかじめ用意されたものや、新しいフォルダを作成して保存することができます。



③OneDriveに保存されたファイルは、それぞれのデバイスで同じアカウントでログインすることでMacと同じように聞いて編集できます。同期はネットワークを経由してすぐに行われ、次に別のデバイスで開こうとしたときには最新のものに反映されます。

## iPadでも出先で仕事の続きをできる



### Word for iPad



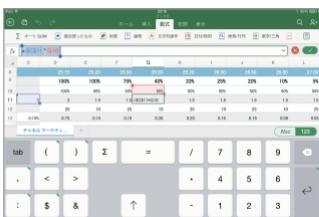
デザインレイアウトにももちろん対応。写真や画像、図形の編集だけでなく、リンクの設定や注釈の挿入など、普段よく使う一般的な機能が網羅されています。

クレアグ・フェザリギ：おはようございます。すばらしいWWDCですね。私たちのチームは今年、素晴らしい仕事をしてまいりました。そして、その成果を皆さんにおせせることに興奮しています。+  
[Side 009][Side 007]  
+ まずはOS Xから始めましょう。既にリリースされているOS X Yosemite。  
今までにならないようなみなさんの持つデバイス間での連携を実現するような画面上的機能を持つ、速くて、大変で、素晴らしいYosemiteでした。+  
[Side 008]  
このYosemiteへの移行率は驚異的で、事実55%のアクティブなMacユーザがすでに最新版を使っています。これが我々の世界の中でも前例のない出来事です。（下の方もまだ知らないWindows 8.1への移行がグラフで表示されて、会場の笑いを誘う）。+  
[Side 009]  
事実、YosemiteのPCオペレーティングシステムの中でも最も早く移行が進んでいます。あらためて感謝します（会場歓声）+  
[Side 010]  
我々は次のOS Xのメジャーリリースのために、Yosemiteのどの部分を改良

テキストのスタイルの設定はもちろん、変更履歴のトラッキングといった校閲まで完全にサポートされます。



### Excel for iPad



数値や計算式の入力が容易になるソフトウェアキーボードは、モバイルデバイスならではの特長です。画面をタップしながら編集でき、操作も直感的です。

品目あたりの売上	コスト	販売率	初期在庫	在庫コスト	品目あたりの利益	初期在庫額	在庫額		
[品目 1]	\$1,200	100.00%	15	\$20,000	\$1,000	\$1,425	\$20,825	2	\$19,675
[品目 2]	\$1,150	75.00%	18	\$26,225	\$1,000	\$1,288	\$27,513	1	\$22,463
[品目 3]	\$1,100	65.00%	20	\$42,900	\$1,000	\$1,205	\$44,105	0	\$24,400

統計機能として評判の高い「ピボットテーブル」は、iPadでの新規作成こそできないものの、フィルタや並び替えをしっかりサポートしています。



### PowerPoint for iPad



発表者ノートに対応しており、エアプレイや有線でプロジェクトに接続している際は、手元のiPadで発表者向けの画面を見ながら話すことができます。

Big team!

最近のプレゼン資料はシンプルなものが人気。iPadで見て細かすぎない程度にまとまったスライド作りは、最近のビジネストレンドの1つでもあります。

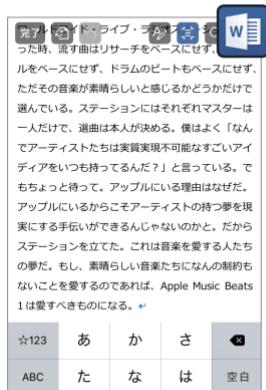
# iPhoneでも書類を素早くチェック



プレゼン中のリモコン代わりとしても重宝するPowerPoint for iPhoneですが、その場で写真撮影したものをスライドに取り込めるなど、機動性の高いスライド作成ツールとして見ても重宝します。



数値や計算式の入力が容易になるソフトウェアキーボードは、iPhoneでの真価を発揮します。在庫のカウントや別の伝票からの数値入力など、片手で操作しながら作業できるので非常に効率的です。



iPhoneだけに備わる「リフロー」表示に切り替えると、ページの継ぎ目を気にせず文章を作成できます。iPhoneでは文章の編集に集中し、レイアウトは他のデバイスで行う、ということが可能です。

## ここが肝要!

ビジネスは、必ずしも会社のデスクだけで完結するわけではありません。クライアントとのミーティングや現場でのデータ統計・収集など、さまざまな場所で仕事は発生します。こうした状況に対応するためデバイスとして、従来の「パソコン」は最適解なのでしょうか。

たとえば少人数でのミーティングであれば、タブレットデバイスに資料を表示しながら話をすることでお互いの距離が近くなり、より親密なコミュニケーションが取れるようになります。また、現場での資料チェックやちょっととしたデータの訂正入力などは、さつと取り出して使えるスマートフォンのような小型デバイスのほうが扱いやすいことが多いでしょう。このように、デバイスには向き不向きがあるため、使うシチュエーションに合わせて切り替えられればより効率的に業務を行えます。

オフィス365は、「こうしたデバイスをまたいだ作業の継続性を大幅に高めてくれます。データを一ヵ月（それぞれのデバイスの中）ではなくクラウドに保存することで、別々のデバイスでも継続

してデータを読み書きできます。ワンドライブと直接リンクするようになったオフィス2016 for Macならではの魅力だと思います。

## デバイスに合った使いやすさ

もちろん、単にモバイルデバイスでデータが扱えるというだけでは「本当に便利になつた」とはいえません。PCとは画面サイズの異なるモバイルデバイスにもかかわらず、PCと同じ使い方を求めるよつたツールでは効率が落ちてしまうでしょう。そこでオフィスは、モバイルデバイス向けにアプリをゼロから設計し直しています。それぞれの画面サイズとタッチデバイスに最適化されたアプリは、シンプルで使いやすいようにまとめられており、iPadでも快適に作業が行えます。

これらは、外出の多いビジネスパーソンだけの恩恵ではありません。育児中に必要な業務だけ在宅でこなしたり、震災などでそもそも会社へ向かうことが困難な場合でも業務を継続できるなど、これまで困難だった柔軟な働き方までは可能してくれるのであります。

# Collaboration 共同作業

グループワークを強く意識した  
クロスプラットフォーム設計

## ファイルを共有してリアルタイムな共同作業を実現する



添付ファイルは作成したままの形式、もしくはPDFに変換したものを送ることができます。メニューを選択すると、自動的にファイルが作成されて添付ファイル付きのメールメッセージが作成されます。



招待された側がURLを開くと、WEBブラウザ上でOffice Onlineのドキュメントとして表示されます。文書はWEBブラウザ上で編集可能なほか、Office 365アカウントでログインすることで、Mac版やWindows版、iOS、Android版などのネイティブアプリで編集することもできます。

作成中の書類を他の人と共有するための方法は、共有用のリンクを通知する[ユーザーの招待]と[リンクのコピー]、そして従来の手法を踏襲する[添付ファイルの送信]の3種類から選べます。



### 添付ファイルの送信

### ユーザーの招待

### リンクのコピー



[ユーザーの招待]を選んだ場合には、指定したメールアドレスにリンクが埋め込まれたメールが送られます。共同編集したい場合には[編集可能]のチェックを忘れないようにしましょう。



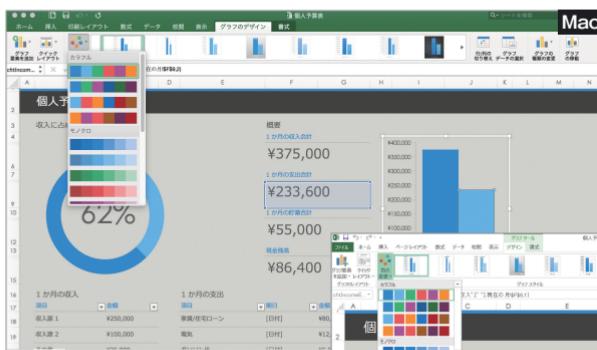
[リンクのコピー]はアドレスのみを取得します。フェイスブックメッセージやアップル純正のメッセージを使って連絡するときなどに使えます。

## プラットフォームの異なる共同作業でも、ソフトの互換性は心配無用



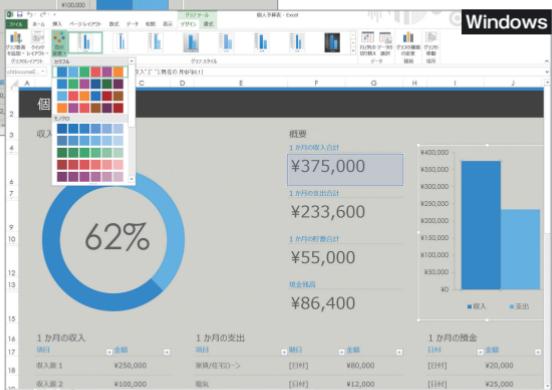
### Wordのレイアウト比較

サンプルファイルをMacで作成したものを、Windowsでも同じように開いてみました。「メイリオ」で組まれた文体や写真の配置も含め、レイアウト崩れなどは特に発生していません。



### Excelのグラフ比較

Excelにグラフを設定し、MacとWindows双方で開いて変化があるかどうかをテストしました。カラーテーマも含めてズレることなく正しく設定が読み込まれているのがわかります。





## PowerPointのアニメーション比較

PowerPointにおけるキーポイントの1つといえばやはりアニメーション効果。以前は環境によって異なる動きになってしまふこともありました。Office 2016 for Macではきちんと揃えられています。



**ここが肝要!**

ビジネス書類の作成は、1人で完結するものとは限りません。クライアントによる内容チェックはもちろん、同じ社内で承認をとったり、同僚に書類の作成を手伝ってもらうこともしばしばあるはずです。「コラボレーション(共同作業)」はビジネスにおいて欠かせないものであり、それをいかに効率化していくかがビジネスのスピードと決定力を決める重要なポイントになります。

とはいっても、Macでウインドウズユーザーと共同作業を行う際には、どうしてもファイルの互換性が気になってしまいます。従来、MacとWindowsなど異なるプラットフォームで作られたデータは、文書内で使っている機能や書式によっては互換性の問題が生じ、共同作業を続ける間に意図しないデータになってしまふこともあります。しかしOffice 2016 for Macではこの部分に大きな手が入れられ、異なるプラットフォーム間でも高い互換性を維持できるようになっています。

これにより「データを渡す相手がどの環境でオフィスを使っているか」を意識する必要がなくなり、

自分の環境も自由に選ぶことが可能になつたのです。

**先祖返りの心配は不要**

これまで、書類をメールに添付してやりとりを繰り返しているど「どのファイルが最新版なのか」がわからなくなつてしまつことがありました。この問題を解決するのが新しいオフィスとワンドライブを使った共有機能です。

新しいオフィスでは、ワンドライブを介して任意の相手と書類を共有できるため、書類を常に最新の状態で管理できます。このメリットは、共有するメンバーが増えれば増えるほど強く感じられることでしょう。

もともとオフィスには「誰が、どの場所を、どう変更したのか」という更新のトランкиング機能や、印刷には反映しない注釈を残す機能など、「コラボレーション」を意識したもののが数多く存在しました。オフィス 2016 for Macでは、ワンドライブを介した共有機能がそれを後押しすることになりました。

これまで以上に快適で、効率的なワークスタイルを確立してくれるのです。

Office以外のファイルも保存OK!  
頼れるオンラインストレージ

# OneDrive クライアントソフト活用のススメ



## OneDrive活用のメリット

- あらゆるファイルを同期できる
- Office 365なら1TBの大容量
- Officeソフト群と連携しやすい
- 容量の少ないMacでも安心
- iOS クライアントもある

### すべてを預けられる安心感

「ワンドライブ」は、オフィス文書の保存先にすることで仕事の継続性を高めてくれる魅力的なソリューションですが、本来は「ドロップボックス」や「グーグル・ドライブ」などと同じオンラインストレージの1つです。ワンドライブは、純粹にオンラインストレージとして見ても、競合するサービスに比べ強いアドバンテージを持つています。その理由の1つがストレージサイズです。ワンドライブ365に加入したユザは、1TBという非常に大容量のオンラインストレージが提供されます。これだけのサイズが提供されれば、書類はもちろん今まで諦めていた動画データなどの共有も可能です。むしろ、ワンドライブに積極的に保存しておこうと自分のデバイスから常にすべての情報にアクセスできるようになり、「持ち出し忘れ」を防げるようになります。

### 容量の少ないマシンでもOK

ワンドライブは、それぞれのプラットフォーム向けに「ワンドライブ」クラウドストレージの存在なのです。

「ワンドライブ」クラウドストレージは、MacならファインダもしくはWEBブラウザ上で、iOSデバイスであればアプリを起動してファイルにアクセスできます。そのうえMac版クライアントは、MacBookエアなどストレージ容量の少ないマシンも考慮されています。任意のフォルダだけを同期することでローカルの容量を節約し、必要なものは別途レジストリーアクセスで大きな機能を備えているのです。

大容量ストレージのオプションはドロップボックスやグーグル・ドライブにもありますが、そのための追加費用を考えると、オフィスのライセンスやスクライプの無料通話（携帯電話を含む公衆回線への通話。月あたり60分）までつくるオフィス365のプランは非常に経済的です。Macユーザにとって、ワンドライブはドロップボックスなどに比べるとまだ知らない人も多いサービスです。しかし、実はライバルを徹底的に研究し、ワンドライブシステムにも積極的に統合されていることから、今後利用者の爆発的な増加が予想されるストレージサービスの「本命」とも目される存在なのです。

## インストールとセットアップ



Mac版のクライアントソフトは、Mac App Storeから無料でダウンロードできます。起動するとOffice 365のユーザーアカウントとパスワードを求められるので、入力してログインします。ダイアログに従って[OneDrive]フォルダの作成場所を決めればセットアップは完了です。

## 選択したフォルダだけ同期する



OneDriveにある一部のアイテムをこのMacにダウンロードする場合は、必要なフォルダだけを選択して同期できます。

## ファイルを入れるだけで同期する



[OneDrive] フォルダにデータを入れると自動的に検知され、クラウドと同期が始まります。別のデバイスでファイルが追加されたり更新された場合にも、OneDriveは通知を受け取って自動的にフォルダの中身を更新していきます。

## iOSアプリも利用可能



## WEBブラウザから管理もできる



OneDriveの中にあるファイルやフォルダは、WEBブラウザでもアクセス可能です。

iOS版アプリもあります。クラウド内のファイル管理はもちろん、カメラロールを自動バックアップして写真ストレージとして活用することもできます。



Happy work life  
with Office +

本冊子は、Mac Fan 2015年9月号の特集記事を抜粋・再構成しています。  
Mac Fanは毎月29日発売のアップルプラットフォームを中心とした月刊専門誌。発行:株式会社マイナビ

CM05063

購入者: 濱海 亮

顧客ID: 696604

購入日時: 2024/02/02 23:20